

2020年度採用

群馬県公立高等学校教員選考試験問題

地 理

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

— 注 意 事 項 —

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから13ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と番号順に重ねた解答用紙を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

- 1 次の文は、「高等学校学習指導要領」(平成30年3月告示)の「地理総合」からの抜粋である。これについて、下の(1)～(3)の設問に答えなさい。

1 目 標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、 A する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての B を次のとおり育成することを目指す。

- (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、 C と D との相互依存関係、(a)空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

2 内 容

A 地図や地理情報システムで捉える現代世界

(1) 地図や地理情報システムと現代世界

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

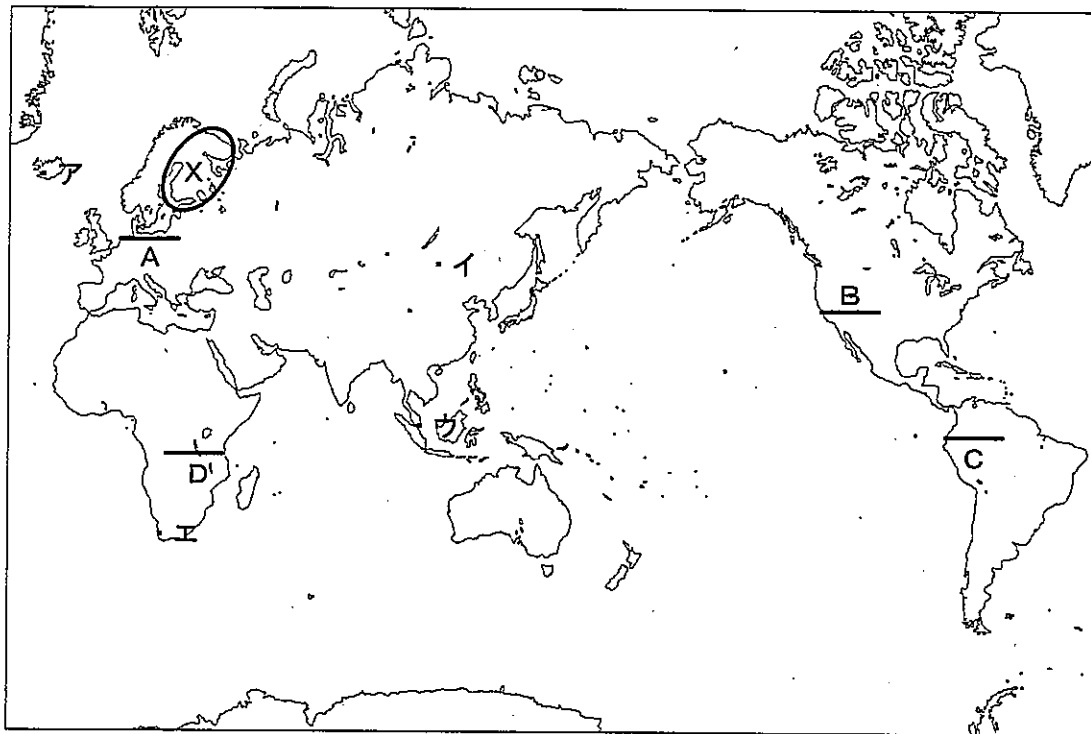
- (イ) 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、(b)目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現すること。

- (1) 空欄  A  ～  D  に当てはまる語をそれぞれ答えよ。  
(2) 下線部(a)の具体例を説明せよ。  
(3) 下線部(b)の力を身に付けさせる際、具体的にどのようなことに留意する必要があるか説明せよ。

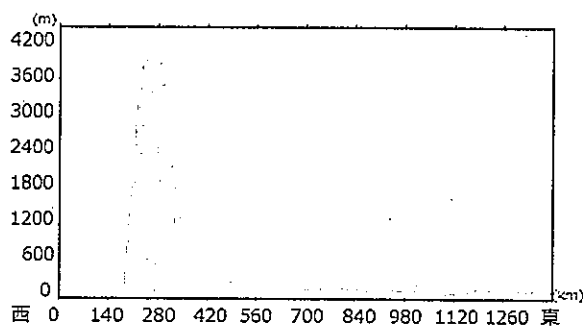
2 地形と気候について、以下の(1)～(3)の設問に答えなさい。

(1) 次の図1をみて、下の①～③に答えよ。

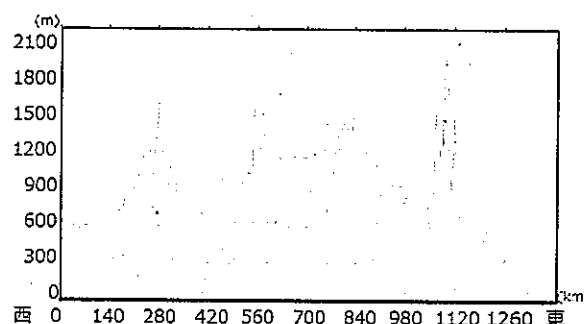
図1



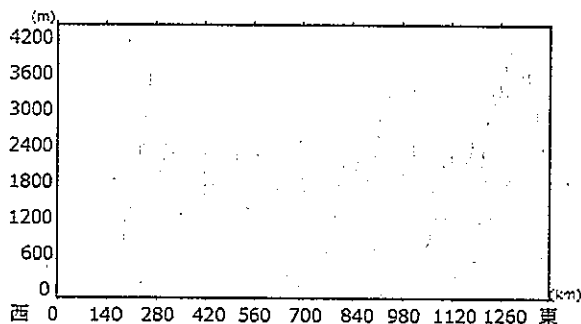
① 次のa～dは、図1中の線A～Dのいずれかの地形断面を示したものである。AとCの断面図として最も適当なものをそれぞれ選び、記号で答えよ。



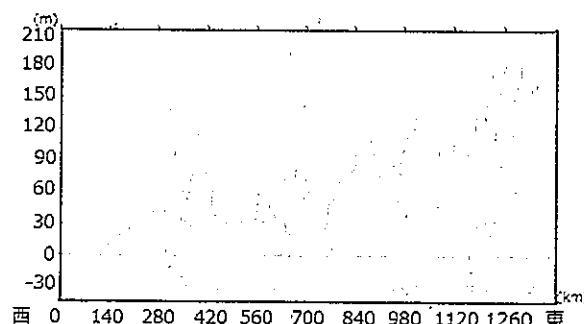
a



b



c

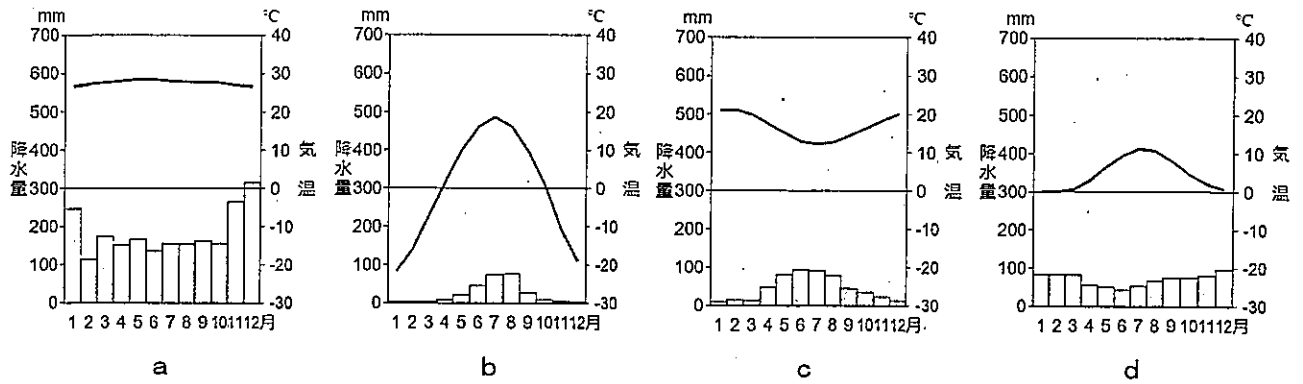


d

国土地理院『地理院地図』により作成。

② 図1中のXに分布する楕状地の名称を答えよ。また、楕状地とはどのような地形が説明せよ。

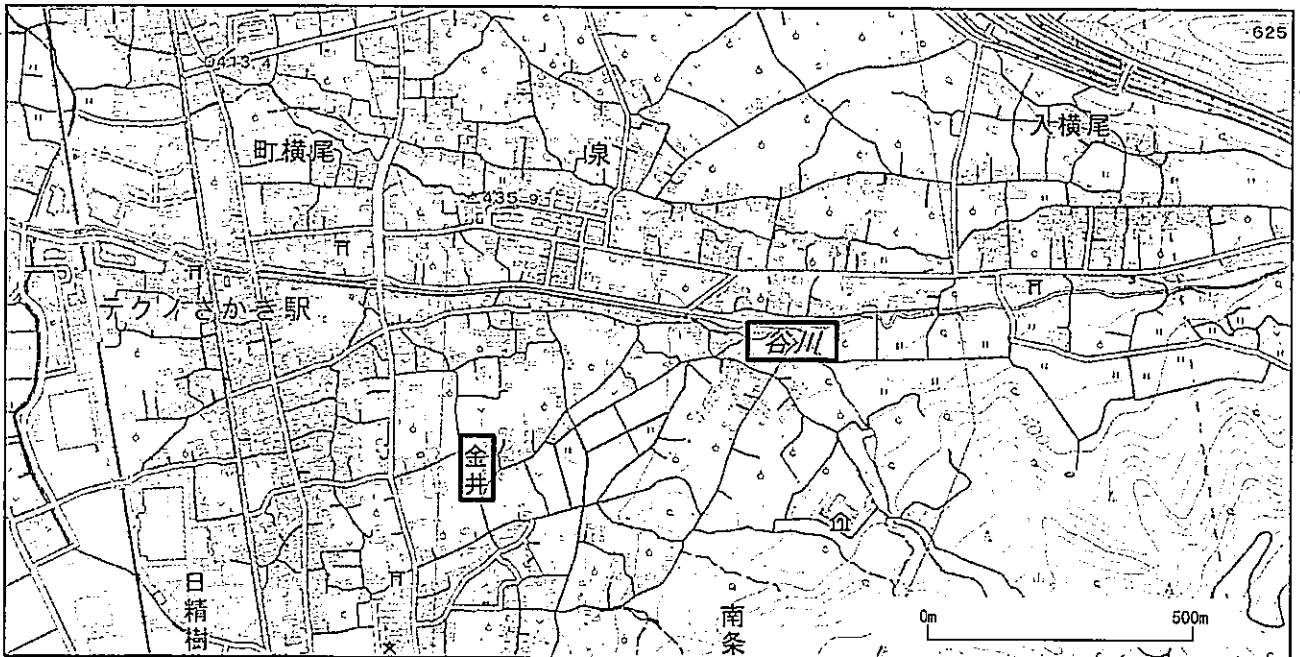
③ 次のa～dは、図1中のア～エのいずれかの都市の雨温図を示したものである。イとエの都市のものとして最も適当なものをそれぞれ選び、記号で答えよ。



気象庁ホームページにより作成。

(2) 次の図2をみて、下の①、②に答えよ。

図2



『カシミール3D』により作成。

- ① 図2中の「金井」集落は、「谷川」を中心とする扇状地のどの部分に立地しているか答えよ。
- ② 扇状地において「金井」に集落ができた理由を説明せよ。

(3) ある地域の気候の特徴を考察するための方法として、雨温図を用いる場合とハイサーグラフを用いる場合がある。雨温図と比較して、ハイサーグラフを用いる利点について説明せよ。

3 資源と産業について、以下の(1)～(5)の設問に答えなさい。

(1) 次の表1は、牛乳および牛肉の生産量上位国、牛の頭数の上位国を示したものである。表1からわかるインドの特徴について、次の語句を用いて説明せよ。

ヒन्दゥー教      経済成長

表1

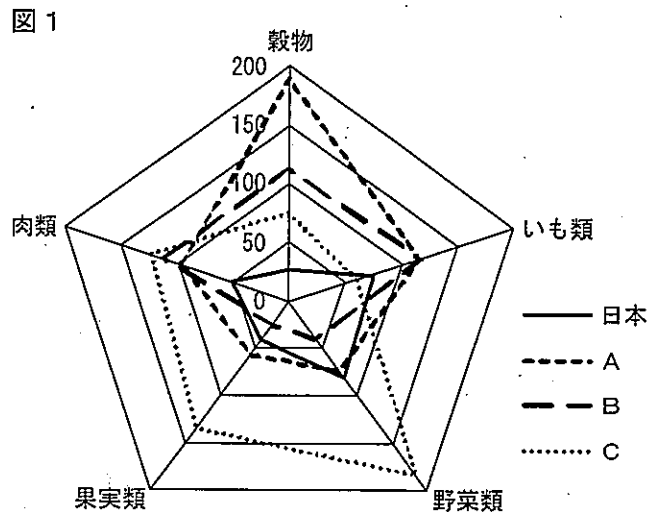
	牛乳の生産量	牛肉の生産量	牛の頭数
1位	アメリカ合衆国	アメリカ合衆国	ブラジル
2位	インド	ブラジル	インド
3位	中国	中国	アメリカ合衆国
4位	ブラジル	アルゼンチン	中国

統計年次は2016年。

『データブック オブ・ザ・ワールド2019』により作成。

(2) 次の図1は、主な国の食料自給率(%)を示したものである。図1中のA～Cに当てはまる国を以下の語群よりそれぞれ選び、答えよ。

イギリス      オランダ      スペイン      ドイツ      フランス



統計年次は、日本は2016年、それ以外は2013年。

『データブック オブ・ザ・ワールド2019』により作成。

(3) 近年、日本では1次産業と2次産業と3次産業を組み合わせた新しい1次産業のあり方を意味する6次産業化が進められている。日本において農業の6次産業化が積極的に進められている理由を、次の語句を用いて説明せよ。

雇用      加工

- (4) 次の表2は、ボーキサイトの産出上位国の産出量と世界計に占める割合、表3はアルミニウムの生産上位国の生産量と世界計に占める割合を示したものである。これについて、下の①、②に答えよ。

表2

	万トン	%
(ア)	8091	27.1
中国	6500	21.7
ブラジル	3706	12.4
マレーシア	3500	11.7
インド	2706	9.1
ギニア	1630	5.5
(イ)	963	3.2
ロシア	590	2.0

統計年次は2015年。

『データブック オブ・ザ・ワールド2019』  
により作成。

表3

	千トン	%
中国	31873	54.1
ロシア	3561	6.0
カナダ	3209	5.4
インド	2723	4.6
アラブ首長国連邦	2500	4.2
(ア)	1634	2.8
ノルウェー	1220	2.1
バーレーン	971	1.6

統計年次は2016年。

『データブック オブ・ザ・ワールド2019』  
により作成。

- ① 表2・表3中の(ア)・(イ)に当てはまる国名をそれぞれ答えよ。
- ② 表2・表3を比較すると、アルミニウムの生産上位国にはボーキサイトの産出上位国に含まれない国が入っていることがわかる。それらの国がアルミニウムの生産で上位となっている理由を説明せよ。

- (5) 次の表4は、アフリカの3つの国の主要貿易相手国と金額による世界計に占める割合の変化を示したものである。これについて、下の①、②に答えよ。

表4

2006年				2007年			
輸出相手国	%	輸入相手国	%	輸出相手国	%	輸入相手国	%
アメリカ合衆国	27.2	フランス	20.4	スイス	20.5	アラブ首長国連邦	13.2
イタリア	17.1	イタリア	8.8	南アフリカ	9.5	南アフリカ	10.1
スペイン	11.0	中国	8.0	中国	7.3	インド	8.7
フランス	8.4	ドイツ	6.9	ケニア	5.8	中国	7.0
カナダ	6.6	アメリカ合衆国	6.6	オランダ	4.9	日本	4.4
2017年				2016年			
輸出相手国	%	輸入相手国	%	輸出相手国	%	輸入相手国	%
イタリア	16.0	中国	18.1	スイス	16.2	中国	20.8
フランス	12.6	フランス	9.3	インド	14.8	インド	18.1
スペイン	11.7	イタリア	8.2	南アフリカ	13.3	アラブ首長国連邦	7.5
アメリカ合衆国	9.9	ドイツ	7.0	中国	7.5	南アフリカ	6.0
ブラジル	6.0	スペイン	6.8	ケニア	6.6	日本	4.7
カ				キ			
2006年				2006年			
輸出相手国	%	輸入相手国	%	輸出相手国	%	輸入相手国	%
アメリカ合衆国	45.0	アメリカ合衆国	15.7	アメリカ合衆国	45.0	アメリカ合衆国	15.7
インド	9.3	中国	13.8	インド	9.3	中国	13.8
スペイン	8.0	イギリス	11.8	スペイン	8.0	イギリス	11.8
フランス	5.7	ドイツ	5.6	フランス	5.7	ドイツ	5.6
ブラジル	4.2	ベルギー	5.1	ブラジル	4.2	ベルギー	5.1
2017年				2017年			
輸出相手国	%	輸入相手国	%	輸出相手国	%	輸入相手国	%
インド	17.9	中国	18.7	インド	17.9	中国	18.7
アメリカ合衆国	12.8	ベルギー	12.9	アメリカ合衆国	12.8	ベルギー	12.9
スペイン	9.9	オランダ	9.2	スペイン	9.9	オランダ	9.2
オランダ	8.5	アメリカ合衆国	8.0	オランダ	8.5	アメリカ合衆国	8.0
フランス	7.7	インド	4.9	フランス	7.7	インド	4.9
ク							

『地理統計要覧 2010年度版・2019年度版』により作成。

- ① 表4中のカ～クは、アルジェリア、タンザニア、ナイジェリアのいずれかである。カ～クの国名をそれぞれ答えよ。
- ② カ～クの各国とも、約10年間で輸入相手国の1位が中国に変化した。このような変化が生じている背景について説明せよ。

4 人口、都市、生活文化について、以下の(1)～(5)の設問に答えなさい。

(1) 次の表1は、各国の人口増加率、65歳以上人口割合、1人あたり国民総所得（GNI）、インターネット利用者率を示したものである。これについて、下の①～③に答えよ。

表1

区分	国	人口増加率 (%)	65歳以上人口割合 (%)	1人あたりGNI (ドル)	インターネット利用者率 (%)
A	ガーナ	2.3	4.4	1468	34.7
	(ア)	1.6	4.9	3552	55.5
B	(イ)	0.8	19.8	52849	89.7
	(ウ)	0.7	15.2	58876	76.2
C	(エ)	0.2	21.1	43174	89.6
	日本	-0.1	27.7	39881	93.2

人口増加率は2010～2018の年平均増加率である。

統計年次は、65歳以上人口割合は日本が2017年、ガーナが2015年、それ以外は2016年、

1人あたりGNIとインターネット利用者率は2016年。

『世界国勢図会 2018/19年版』により作成。

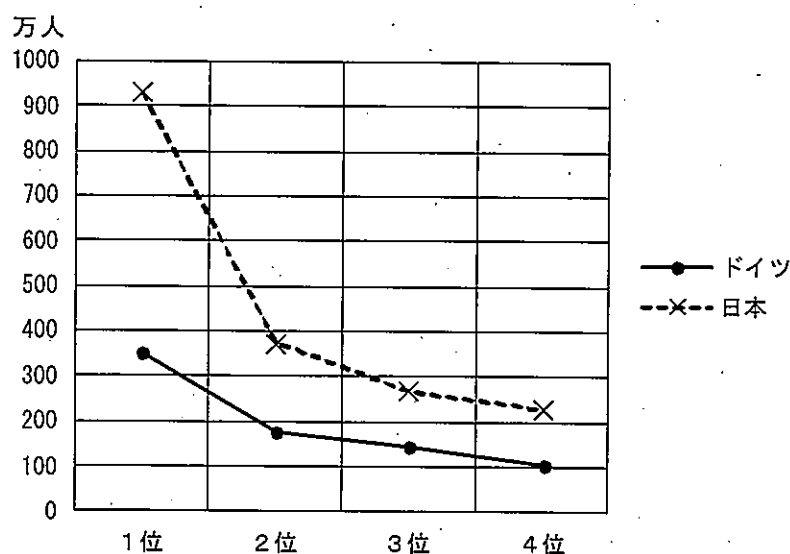
- ① 表1中の(ア)～(エ)は、アメリカ合衆国、スウェーデン、ドイツ、フィリピンのいずれかである。(ア)～(エ)に該当する国名をそれぞれ答えよ。
- ② 区分Aの国は人口増加率が高くなっている。このような国で、人口増加率が高い理由を次の語句を用いて説明せよ。

出生率 死亡率

- ③ 区分Bの国は、1人あたりGNIやインターネット利用者率が区分Cの国に近いが、人口増加率は区分Cの国より高くなっている。区分Bの国(イ)と(ウ)で人口増加率が高くなっている理由をそれぞれ説明せよ。

(2) 次の図1は、ドイツと日本における上位4位までの都市人口を示したものである。これについて、次ページの①、②に答えよ。

図1



統計年次は、ドイツは2016年、日本は2017年。

『世界国勢図会 2018/19年版』により作成。



- ① 図1の日本の第1位の都市のように、人口規模で第2位以下の都市を大きく上回っている都市のことを何とよいか、カタカナで答えよ。
- ② 図1からわかる日本とドイツの違いについて、国家の形態の観点から説明せよ。
- (3) 1980年代後半になると、先進国の大都市の都心部では、ジェントリフィケーションと呼ばれる現象がみられるようになった。この現象について問題点もあわせて説明せよ。
- (4) 次の表2中のカ～コは、エジプト、チリ、日本、フランス、ベトナムのいずれかにおける第1次産業人口割合、男女別労働力率、失業率を示したものである。エジプトとフランスに該当するものをそれぞれ選び、記号で答えよ。

表2

国名	第1次産業人口 割合(%)	労働力率(%)		失業率 (%)
		男性	女性	
(カ)	2.8	60.4	50.7	10.1
(キ)	43.6	83.5	73.2	2.1
(ク)	25.8	73.6	22.0	12.4
(ケ)	3.4	70.9	50.6	3.1
(コ)	9.5	74.3	50.4	6.7

統計年次は、第1次産業人口割合はエジプトとベトナムが2015年、それ以外は2016年、労働力率と失業率は2016年。

『世界国勢図会 2018/19年版』、『データブック オブ・ザ・ワールド2019』により作成。

- (5) 次の表3中のサ～ソは、アメリカ合衆国、イギリス、インドネシア、日本、ブラジルのいずれかの1人あたり医療費、医療費支出に占める公的支出割合、1000人当たりの医師数を示したものである。アメリカ合衆国とブラジルに該当するものをそれぞれ選び、記号で答えよ。

表3

国名	サ	シ	ス	セ	ソ
1人あたり医療費(ドル)	9403	3935	3703	947	.99
医療費支出に占める公的支出割合(%)	48.3	83.1	83.6	46.0	37.8
1000人当たりの医師数(人)	2.5	2.8	2.3	1.9	0.2

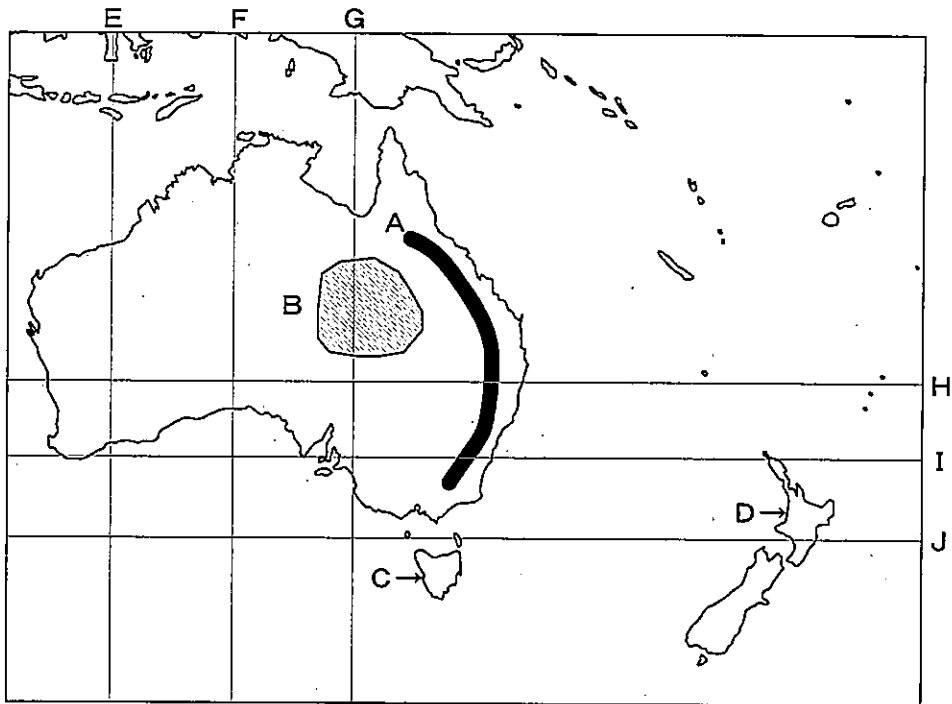
統計年次は2014年。

『データブック オブ・ザ・ワールド2019』により作成。

5 オーストラリアとニュージーランドについて、以下の(1)～(4)の設問に答えなさい。

(1) 次の図1について、下の①、②に答えよ。

図1



- ① 図1中のAの山脈、Bの盆地、CおよびDの島の名称をそれぞれ答えよ。  
 ② 図1中のE～Jのうち、南緯40度と東経140度に該当するものをそれぞれ選び、記号で答えよ。

(2) 次の表1はオーストラリアとニュージーランドを項目ごとに整理したものである。表1中の空欄(ア)～(オ)に当てはまる語句をそれぞれ答えよ。

表1

項目	オーストラリア	ニュージーランド
大地形	安定陸塊・古期造山帯	(ア)
主な気候	Aw・Am・BS・BW・Cfa・ (イ)・(ウ)	(イ)
先住民	アボリジニ	(エ)
旧宗主国	(オ)	(オ)

(3) オーストラリアとニュージーランドの牧羊について、以下の語句を全て用いて90字以内で説明せよ。語句は繰り返し用いてもよいが、最初に使用した箇所には下線を引くこと。

コリデール種      メリノ種      降水量

(4) 次の表2中のX・Yは、オーストラリアとニュージーランドそれぞれの輸出入品目と輸出・輸入額に占める割合を示したものである。オーストラリアに該当するものを選び、記号で答えよ。

表2

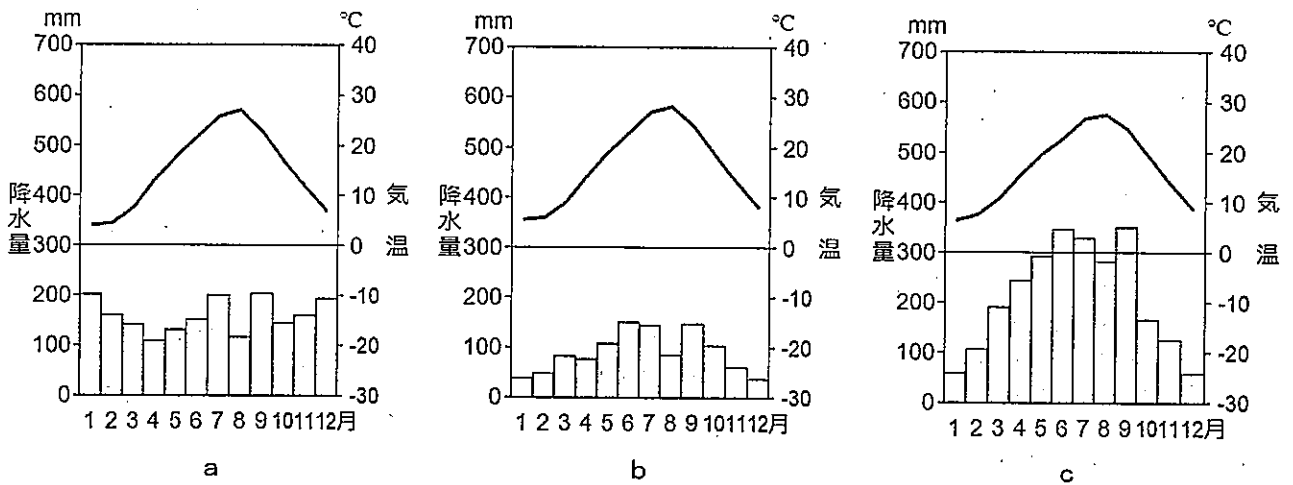
輸出		輸入		輸出		輸入	
品目	%	品目	%	品目	%	品目	%
鉄鉱石	21.1	機械類	23.7	酪農品	26.2	機械類	23.3
石炭	18.8	自動車	13.0	肉類	12.8	自動車	15.2
液化天然ガス	8.5	石油製品	6.6	木材	7.6	原油	5.5
X				Y			

統計年次は2017年。

『データブック オブ・ザ・ワールド2019』により作成。

6 地域調査について、以下の(1)～(4)の設問に答えなさい。

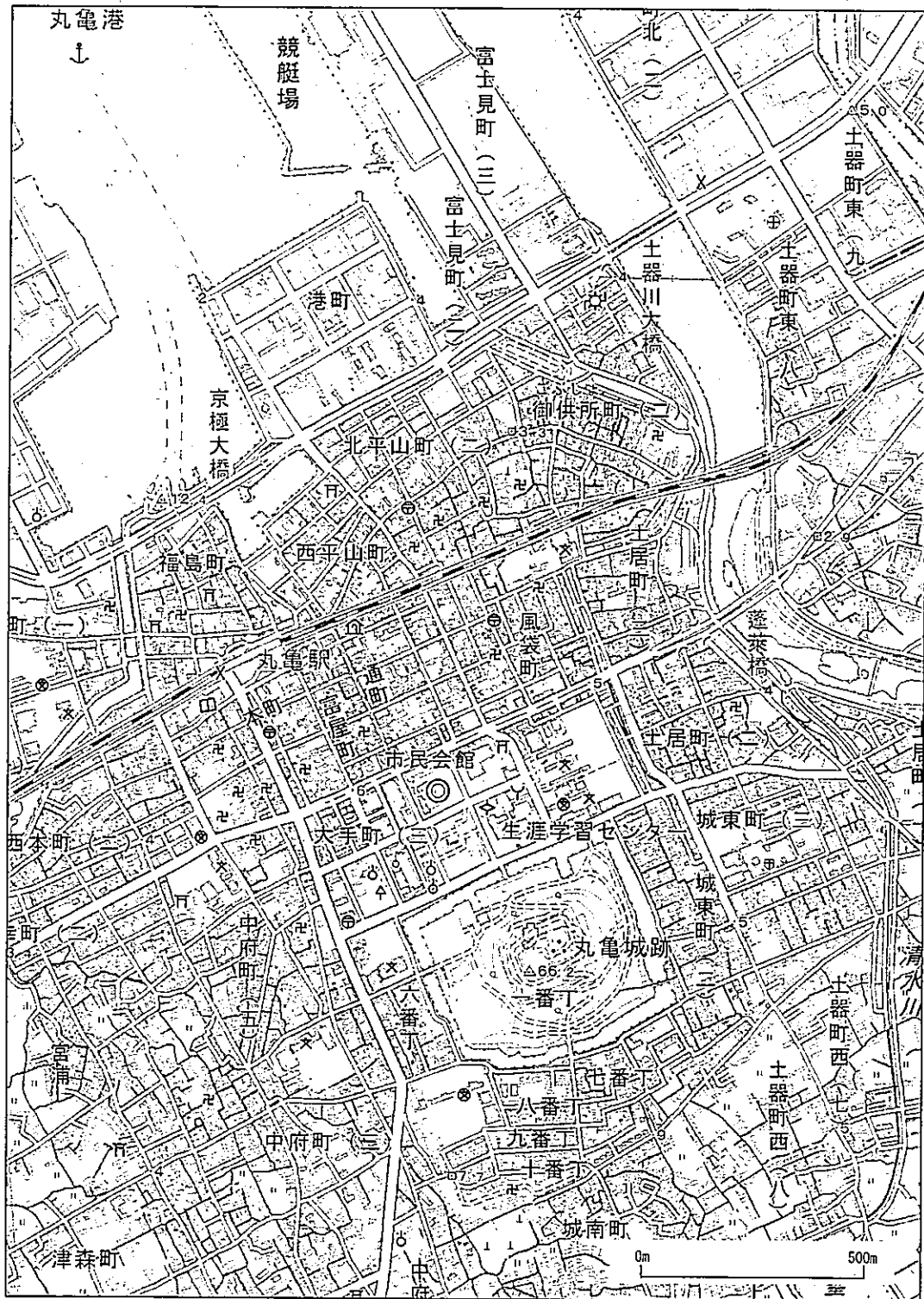
(1) 次のa～cの雨温図は、鳥取市、高松市、高知市のいずれかの都市のものである。高松市のもので最も適当なものを選び、記号で答えよ。



気象庁ホームページにより作成。

(2) 次の図1は高松市と同じ香川県に位置する丸亀市の市街地の地図である。図1について、以下の①、②に答えよ。

図1



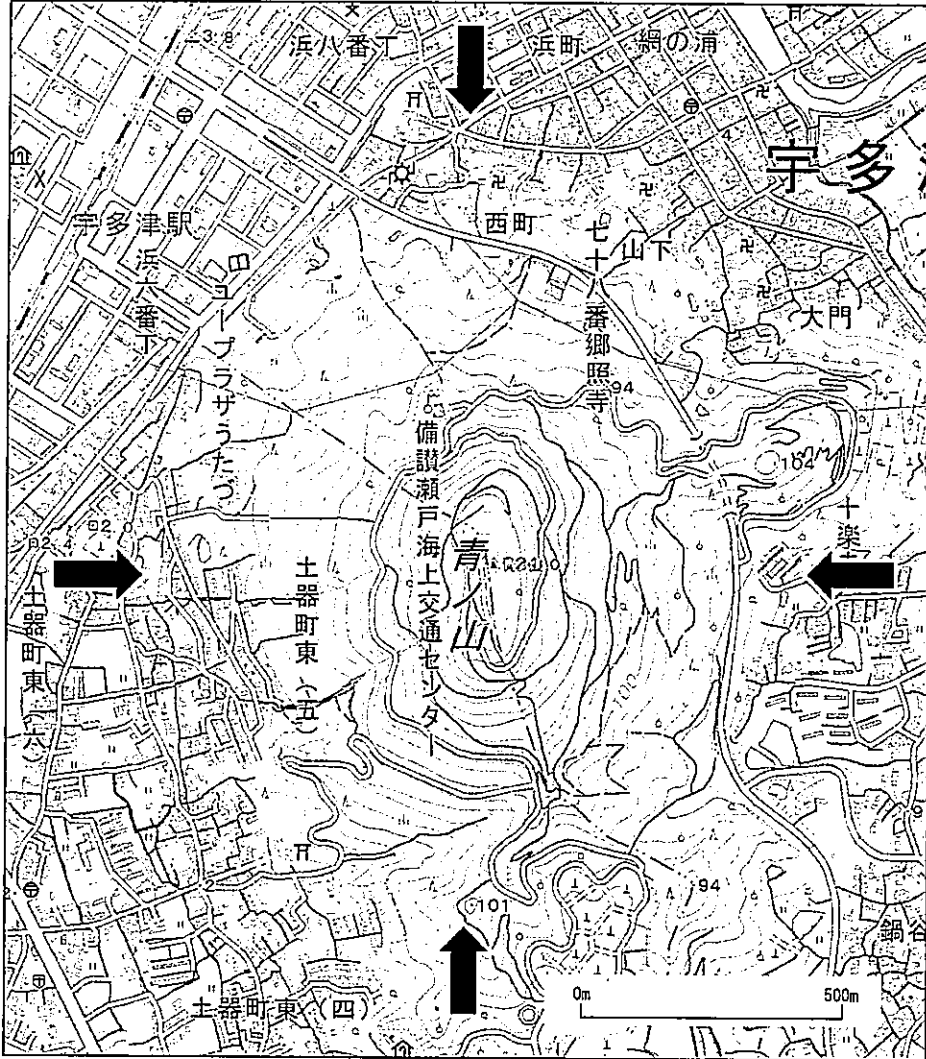
『カシミール3D』により作成。

- ① 図1について説明したア～エの文章のうち、最も適当なものを選び、記号で答えよ。
- ア 丸亀城北側に県庁や税務署などの官公庁が集中して立地している。
  - イ 丸亀駅の東に老人ホームが、西側には博物館が立地している。
  - ウ 図中を東西に通過するJR予讃線は単線となっている。
  - エ 丸亀城跡は標高が60m以上あり、図1中では最も高い場所である。

② 図1から地域調査のテーマを設定したい。あなたならどのようなテーマを設定するか、3つ提示せよ。

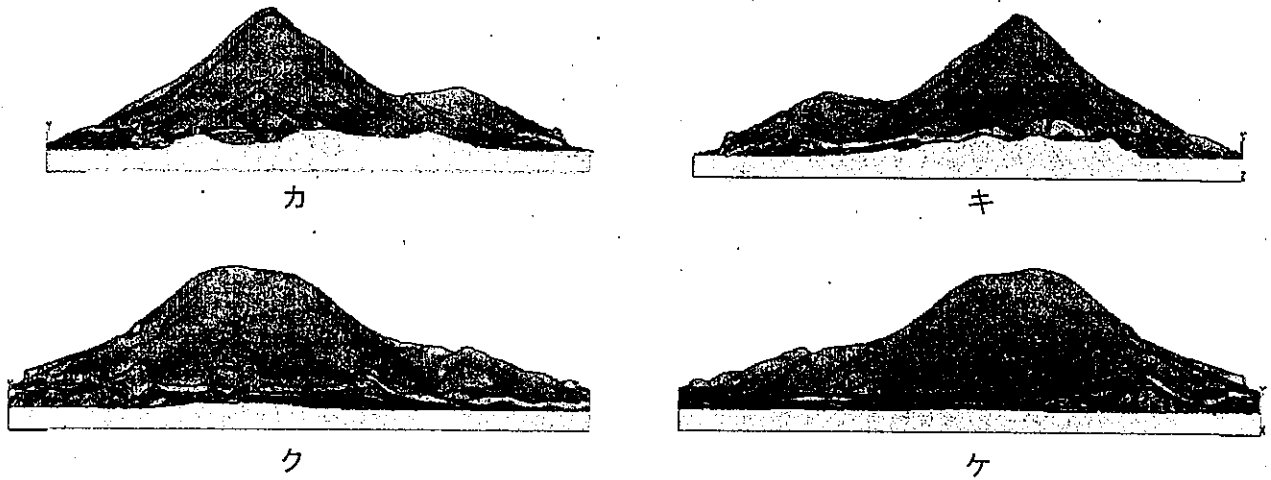
(3) 次の図2は丸亀市東方に位置する青ノ山周辺の地図であり、次ページの図3中のカ～ケは青ノ山を東西南北それぞれの方向から見た図である。図3中のカ～ケのうち、青ノ山を南から見たものとして最も適当なものを選び、記号で答えよ。

図2



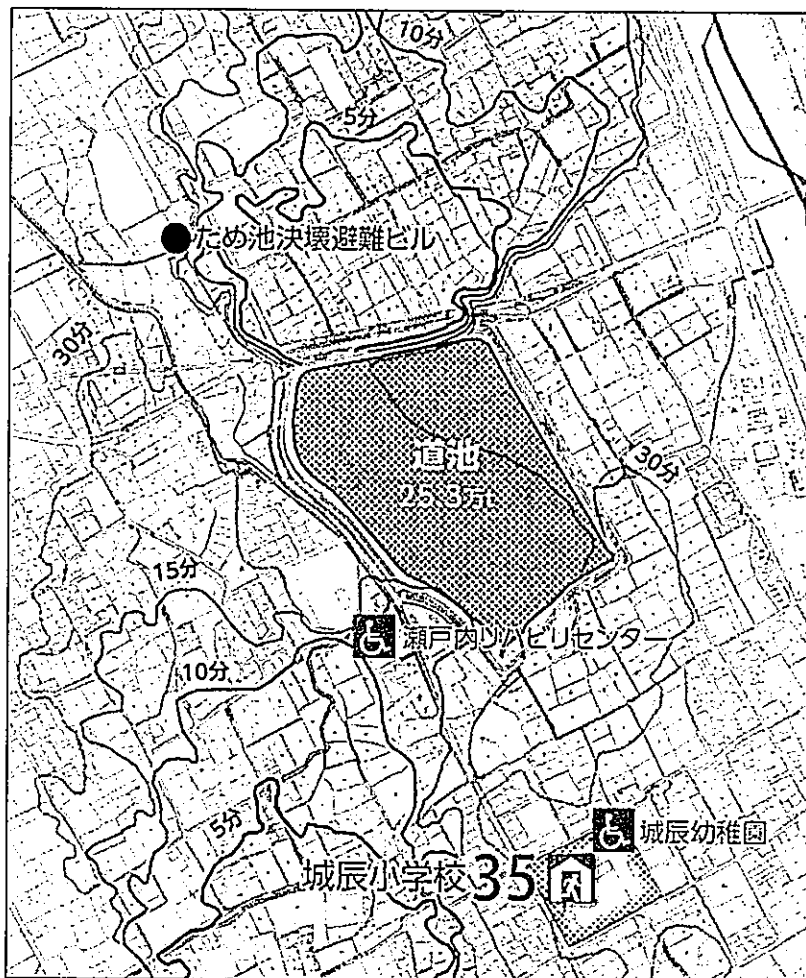
『カシミール3D』により作成。

図3



(4) 次の図4は丸亀市が作成している「ため池ハザードマップ」の一部である。図4について、下の①、②に答えよ。

図4



香川県丸亀市『ため池ハザードマップ』により作成。

- ① 丸亀市において、ため池が多い理由を説明せよ。
- ② 「ため池ハザードマップ」は何に備えて作成されたものか。丸亀市の自然環境を踏まえて説明せよ。

科目	地理 解答用紙	2 枚中の 1	受験番号		氏名	
----	---------	---------	------	--	----	--

(2020年)

1  
 (1) A ..... B .....  
 C ..... D .....

(2) .....  
 .....  
 (3) .....  
 .....

2  
 (1) ① A ..... C .....  
 ② 名称 .....  
 説明 .....

③ イ ..... エ .....  
 (2) ① .....  
 ② .....  
 (3) .....  
 .....

3  
 (1) .....  
 .....  
 .....

(2) A ..... B ..... C .....  
 (3) .....  
 .....

(4) ① ア ..... イ .....  
 ② .....  
 .....

(5) ① カ ..... キ ..... ク .....  
 ② .....  
 .....

4  
 (1) ① ア ..... イ .....  
 ウ ..... エ .....  
 ② .....  
 .....

③ イ .....  
 ウ .....





以下はあくまでも解答の一例です。

科目	地理 解答用紙	2 枚中の 1	受験番号	氏名
----	---------	---------	------	----

(2020年)

- 1  
 (1) A グローバル化 B 資質・能力  
 C 人間 D 自然環境 (各1点×4=4点)  
 (2) 資源が豊富な地域からその資源がない地域へと送られ、送られた地域ではその資源を活用し製品をつくり、その製品を資源が豊富な地域へと送ることで、両地域が互いに補完し合っている。(2点)  
 (3) 人口などの絶対的な数値で表される指標と人口密度などの相対的な数値で表される指標では、指標によって適切な地図の表し方が異なること。(2点)

- 2  
 (1) ① A d C a (各1点×2=2点)  
 ② 名称 バルト楯状地 (2点)  
 説明 先カンブリア時代の地層が氷河等の侵食により露出している平坦地である。(3点)  
 ③ イ b エ c (各1点×2=2点)  
 (2) ① 扇端 (1点)  
 ② 扇央部分で伏流した水が湧水として得られるから。(3点)  
 (3) 同じ気候の場所の場合、雨温図では北半球と南半球とでグラフの形状が異なるが、ハイサーグラフでは北半球でも南半球でもグラフの形状が同じになるため、地球規模で気候を比較する際に相違点を見出しやすい。(3点)

- 3  
 (1) インドで広く信仰されているヒンドゥー教では、牛は神聖な動物とされており、牛の頭数は多いが、牛肉を食することは禁じられているので、牛肉の生産量はそれほど多くない。一方、肉食主義者の多いインドでは、近年の経済成長に伴い、飲用としてだけでなく各種乳製品の原料として牛乳の需要が高まっているので、牛乳の生産量は多くなっている。(4点)  
 (2) A フランス B ドイツ C スペイン (各1点×3=3点)  
 (3) 生産だけでなく加工・販売までを一体化し、地域資源を活用した新たな付加価値を生み出すことで、雇用の確保や所得の向上を目指すから。(3点)  
 (4) ① ア オーストラリア イ ジャマイカ (各1点×2=2点)  
 ② アルミニウムの生産には大量の電気が必要になるので、安価で豊富な電力が得られる国が生産上位になる。カナダやノルウェーは発電コストの低い水力発電がさかんであり、アラブ首長国連邦やバーレーンは自国の豊富な化石燃料を利用できるから。(3点)  
 (5) ① カ アルジェリア キ タンザニア ク ナイジェリア (各1点×3=3点)  
 ② 各国の人口増加や経済成長により、安価な工業製品の需要が増大したことに加え、中国がインフラ整備などを通して援助の拡大を進めているため。(2点)

- 4  
 (1) ① ア フィリピン イ スウェーデン  
 ウ アメリカ合衆国 エ ドイツ (各1点×4=4点)  
 ② 医療の進歩や衛生状態の改善により死亡率は低下したが、子供は多い方がよいという伝統的な価値観があり出生率は高いままであるから。(2点)  
 ③ イ 出産や育児を支援する社会環境の整備が進み、出生率が上昇したから。(2点)  
 ウ 移民の流入により社会増加が多くなっており、また、移民の出生率が高いため。(2点)

科目	地理 解答用紙	2 枚中の 2	受験番号		氏名	
----	---------	---------	------	--	----	--

(2020年)

- 4
- (2)① プライメートシティ (2点)
- ② ドイツは連邦国家のため首都だけでなく州都などにも都市機能が分散するが、日本は中央集権国家の要素が強い。そのため諸機能が首都に一極集中するから。 (4点)
- (3) 荒廃した都市内部の老朽化した建物を一掃し、商業施設や高級住宅などを建設する再開発を行ったことで、若者を中心とする比較的裕福な人が流入したが、このために地価や家賃が上昇して、従来からの住民の流出などの問題が生じている。 (3点)
- (4) エジプト ク フランス カ (各1点×2=2点)
- (5) アメリカ合衆国 サ ブラジル セ (各1点×2=2点)

- 5
- (1)① A グレートディヴァイディング山脈 B グレートアーテジアン盆地  
C タスマニア島 D 北島 (各1点×4=4点)
- ② 南緯40度 J 東経140度 G (各1点×2=2点)

- (2) ア 新期造山帯 イ C f b ウ Cs  
エ マオリ オ イギリス (各2点×5=10点)

- (3) オーストラリアでは降水量500mm以下の地域で、主に毛用のメリノ種の牧羊が行われている。ニュージーランドでは降水量の少ない南島の東部で、主に毛肉兼用のコリデー種が飼育されている。 (3点)

- (4) X (1点)

- 6
- (1) b (1点)

- (2)① エ (1点)

② ○ 町名からみる城下町の特徴と現状について (2点)

○ 京極大橋付近の沿岸部の土地利用の変遷について (2点)

○ 丸亀駅周辺の商店街の現状について (2点)

- (3) カ (1点)

(4)① 年間を通じて降水量が少ない地域であり、農業用水を確保するため。 (2点)

② この地域は南海地震の発生が予測される地域であり、大地震の際はため池が決壊するおそれがあるから。 (2点)